# 小5理科 ヒトのたんじょう No.3

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

**問1** ヒトの子どもは、生まれるまでに母親の体内で約何週間育てられますか。

○ 約38週間　○ 約24週間　○ 約10週間　○ 約50週間

**問2** ヒトの卵（らん）の直径（ちょっけい）は、およそどれくらいの大きさですか。

○ 約14mm　○ 約0.014mm　○ 約0.14mm　○ 約1.4mm

**問3** 母親の体内で、赤ちゃんが母親との間で養分や不要物を受けわたすときの通り道となる管を何といいますか。

○ 卵　○ 子宮　○ 羊水　○ へその緒

**問4** たいばん（胎盤）には、どのようなはたらきがありますか。

○ 胎児に養分を送り、いらなくなったものを受け取るはたらき。
○ 胎児を外からのショックから守り、あたたかく保つはたらき。
○ 胎児に直接空気を送り、呼吸をさせるはたらき。
○ 胎児の体を動かして、運動を助けるはたらき。

**問5** 次のうち、たまごのすがたでうまれてくる動物の組み合わせとして正しいものはどれですか。

○ サルとウサギ　○ ヒトとイヌ　○ ネコとウシ　○ メダカとニワトリ

**問6** 子宮の中にあり、おなかの赤ちゃんが母親から養分など必要なものをもらい、いらないものをわたす場所を何といいますか。

○ 心臓（しんぞう）　○ へそのお　○ たいばん　○ ようすい

**問7** メダカやカエル、サケ、ニワトリなどのように、親が卵を産んでなかまをふやす動物を何といいますか。

○ 卵を産まない動物
○ おなかの中で育てる動物
○ 卵を産む動物
○ 親の体から直接生まれる動物

**問8** 親と似た姿で生まれる動物と、たまごで生まれる動物をくらべたとき、受精卵の大きさにはどのようなちがいがありますか。

○ たまごで生まれる動物のほうが小さい。
○ 親と似た姿で生まれる動物のほうが小さい。
○ どちらの動物も同じ大きさである。
○ 親の体の大きさが大きい動物のほうが小さい。

**問9** たまごの姿で生まれる動物は、たまごの中で何を使って成長しますか。

○ 土の中から吸い上げる養分
○ 親の体から直接送られてくる養分
○ まわりの水や空気から取り入れる養分
○ たまごの中にあらかじめある養分

**問10** 母親の子宮のかべにあり、へそのおを通して胎児とつながっている、養分などをやりとりする部分を何といいますか。

○ へそのお　○ しきゅう（子宮）　○ たいばん（胎盤）　○ ようすい（羊水）

**問11** 親と似た姿で生まれる動物の受精卵が、たまごで生まれる動物の受精卵よりも小さいのはなぜですか。

○ たまごのからを作る必要がないから。
○ 生まれるまでに長い時間がかかるから。
○ 親の体の中でたくさんの空気をすうから。
○ 成長に必要な養分をためこんでいないから。

**問12** 卵を産む動物の卵の中で、子どもはどのようにして育つための養分をとり入れますか。

○ 自分で光合成をして養分をつくって育つ
○ 親の体から送られる養分を使って育つ
○ まわりの水や空気から養分をすいとって育つ
○ 卵の中に含まれる養分を使って育つ

**問13** 生まれ出てきたばかりのヒトの子どもは、母親から何をもらって育ちますか。

○ 水　○ ちち　○ 草　○ 肉

**問14** 子宮という場所で受精卵を育てる動物には、どのような特徴がありますか。

○ 親と似た姿で生まれてくる。
○ 卵からかえってから育つ。
○ 親とはまったくちがう姿で生まれてくる。
○ 水の中で卵を産んで育てる。

**問15** ヒトの子どもが生まれるときの、一般的な体重と身長の組み合わせとして正しいものはどれですか。

○ 体重約1kg、身長約30cm　○ 体重約8kg、身長約90cm　○ 体重約5kg、身長約70cm　○ 体重約3kg、身長約50cm



QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう

# 小5理科 ヒトのたんじょう No.3

赤い ○ が 正しい 答え。
まちがえた 問は もう一度 とこう。

**こたえ**

**問1** ヒトの子どもは、生まれるまでに母親の体内で約何週間育てられますか。

- (●) 約38週間
- ( ) 約24週間
- ( ) 約10週間
- ( ) 約50週間

**問2** ヒトの卵（らん）の直径（ちょっけい）は、およそどれくらいの大きさですか。

- ( ) 約14mm
- ( ) 約0.014mm
- (●) 約0.14mm
- ( ) 約1.4mm

**問3** 母親の体内で、赤ちゃんが母親との間で養分や不要物を受けわたすときの通り道となる管を何といいますか。

- ( ) 卵
- ( ) 子宮
- ( ) 羊水
- (●) へその緒

**問4** たいばん（胎盤）には、どのようなはたらきがありますか。

- (●) 胎児に養分を送り、いらなくなったものを受け取るはたらき。
- ( ) 胎児を外からのショックから守り、あたたかく保つはたらき。
- ( ) 胎児に直接空気を送り、呼吸をさせるはたらき。
- ( ) 胎児の体を動かして、運動を助けるはたらき。

**問5** 次のうち、たまごのすがたでうまれてくる動物の組み合わせとして正しいものはどれですか。

- ( ) サルとウサギ
- ( ) ヒトとイヌ
- ( ) ネコとウシ
- (●) メダカとニワトリ

**問6** 子宮の中にあり、おなかの赤ちゃんが母親から養分など必要なものをもらい、いらないものをわたす場所を何といいますか。

- ( ) 心臓（しんぞう）
- ( ) へそのお
- (●) たいばん
- ( ) ようすい

**問7** メダカやカエル、サケ、ニワトリなどのように、親が卵を産んでなかまをふやす動物を何といいますか。

- ( ) 卵を産まない動物
- ( ) おなかの中で育てる動物
- (●) 卵を産む動物
- ( ) 親の体から直接生まれる動物

**問8** 親と似た姿で生まれる動物と、たまごで生まれる動物をくらべたとき、受精卵の大きさにはどのようなちがいがありますか。

- ( ) たまごで生まれる動物のほうが小さい。
- (●) 親と似た姿で生まれる動物のほうが小さい。
- ( ) どちらの動物も同じ大きさである。
- ( ) 親の体の大きさが大きい動物のほうが小さい。

**問9** たまごの姿で生まれる動物は、たまごの中で何を使って成長しますか。

- ( ) 土の中から吸い上げる養分
- ( ) 親の体から直接送られてくる養分
- ( ) まわりの水や空気から取り入れる養分
- (●) たまごの中にあらかじめある養分

**問10** 母親の子宮のかべにあり、へそのおを通して胎児とつながっている、養分などをやりとりする部分を何といいますか。

- ( ) へそのお
- ( ) しきゅう（子宮）
- (●) たいばん（胎盤）
- ( ) ようすい（羊水）

**問11** 親と似た姿で生まれる動物の受精卵が、たまごで生まれる動物の受精卵よりも小さいのはなぜですか。

- ( ) たまごのからを作る必要がないから。
- ( ) 生まれるまでに長い時間がかかるから。
- ( ) 親の体の中でたくさんの空気をすうから。
- (●) 成長に必要な養分をためこんでいないから。

**問12** 卵を産む動物の卵の中で、子どもはどのようにして育つための養分をとり入れますか。

- ( ) 自分で光合成をして養分をつくって育つ
- ( ) 親の体から送られる養分を使って育つ
- ( ) まわりの水や空気から養分をすいとって育つ
- (●) 卵の中に含まれる養分を使って育つ

**問13** 生まれ出てきたばかりのヒトの子どもは、母親から何をもらって育ちますか。

- ( ) 水
- (●) ちち
- ( ) 草
- ( ) 肉

**問14** 子宮という場所で受精卵を育てる動物には、どのような特徴がありますか。

- (●) 親と似た姿で生まれてくる。
- ( ) 卵からかえってから育つ。
- ( ) 親とはまったくちがう姿で生まれてくる。
- ( ) 水の中で卵を産んで育てる。

**問15** ヒトの子どもが生まれるときの、一般的な体重と身長の組み合わせとして正しいものはどれですか。

- ( ) 体重約1kg、身長約30cm
- ( ) 体重約8kg、身長約90cm
- ( ) 体重約5kg、身長約70cm
- (●) 体重約3kg、身長約50cm